

2024  
9月号

# 福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合  
〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南1-9-8  
ケイ・アイビル2F  
TEL 092-433-3338  
FAX 092-433-3535  
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

## 実現！新幹線通勤手当手出しゼロ円 =2024年人事院勧告=

九州地域の新幹線通勤手当額一覧表

通勤手当上限額：150,000円

※灰色網掛けは、60km未満のため不支給  
※黄色網掛けは、手出しが発生する通勤区間

通勤区間	営業キロ (km)	時間 h:m			新幹線・特急定期券					手出額 (円)	
		新幹線・特急	快速・普通	通勤時間	有効期限 (月)	金額 (円)	運賃 (円)	特急料金 (円)	1ヶ月あたり料金 (円)	1ヶ月あたり料金	1ヶ月あたり料金
博多～小倉	67.2	0:22	1:03	0:41	3	189,170	92,610	96,560	63,057	0	0
博多～新下関	86.2	0:26	1:40	1:14	3	214,860	118,300	96,560	71,620	0	0
博多～原狭	112.8			0:00	3	299,050		299,050	99,683	0	0
博多～新山口	147.9	0:34	2:43	2:09	3	345,750	199,100	146,650	115,250	0	0
博多～徳山	192.2	0:43	3:34	2:51	3	404,180	256,470	147,710	134,727	0	0
博多～新岩国	239.3			0:00	3	521,440	323,130	198,310	173,813	23,813	23,813
博多～広島	280.7	1:01	5:47	4:45	3	574,090	374,110	199,980	191,363	41,363	41,363
博多～新鳥栖	28.6	0:12	0:37	0:25	6	248,280		248,280	41,380	0	0
博多～久留米	35.7	0:14	0:34	0:20	6	262,040		262,040	43,673	0	0
博多～筑後船小屋	51.5	0:24		***	6	338,050		338,050	56,342	0	0
博多～新大牟田	69.3	0:28		***	6	405,580		405,580	67,597	0	0
博多～新玉名	90.4	0:32		***	6	527,200		527,200	87,867	0	0
博多～熊本	118.4	0:32	2:10	1:38	6	648,120	313,220	334,900	108,020	0	0
博多～新八代	151.3	0:49		0:00	6	820,310	407,900	412,410	136,718	0	0
博多～新水俣	194.1	1:04		0:00	6	927,290	514,880	412,410	154,548	4,548	4,548
博多～出水	210.1	1:11		0:00	6	1,018,820	555,500	463,320	169,803	19,803	19,803
博多～川内	242.8	1:08		0:00	6	1,103,440	640,120	463,320	183,907	33,907	33,907
博多～鹿児島中央	288.9	1:55		0:00	6	1,211,140	747,820	463,320	201,857	51,857	51,857

### 非課税限度額15万円、30分短縮要件廃止

2024年8月8日に内閣と国会に報告された人事院勧告で、国公九州ブロックと福岡県公が一昨年から複数年かけて取り組んだ、新幹線通勤手当の全額支給の要求が実現しました。新幹線通勤や在来線の特急利用者にとっては実質的な大幅な賃金引き上げになります。

今年2024年の人事院勧告で、人事院は通勤手当に関して、①非課税限度額を15万円に引き上げる②新幹線及び特急利用時の支給要件「30分短縮」廃止を勧告しました。この勧告で博多駅を起点にすれば(表参照)、東

は山口県の徳山駅まではカバーし、南は新八代駅までカバーできることとで新幹線通勤手当全額支給が実現できました。また30分短縮要件廃止で、在来線の特急利用者も自己負担なしで利用することができるようになります。国

### 九州・福岡から始めた闘いが要求実現

新幹線通勤全額支給を求める「新幹線通勤全額支給署名」の取り組みは、2022年9月に開催した国公九州ブロック第74回定期総会で提起しました。署名と同時に「通勤手当

くされ、新幹線を利用して非課税支給限度額が5万円のため、自己負担額が大きく生活に支障をきたしていること。②九州は本州の各新幹線と異なり、「博多小倉」「博多熊本」「博多長崎」「熊本鹿児島」のように利用頻度が高いことです。

### 九州で署名4000筆余とアンケート結果と声を提出

署名は、人事院本院の川本裕子総裁宛と九州事務局の小山茂樹局長宛の2種類で、職員を含む九州全職員対象に取り組み、川本総裁宛に4129筆、小山局長宛に4077筆集まりました。アンケートは778名からの回答で自己負担額最大75,700円、平均20,702円の自己負担額の実態が明らかになりました。この結果を、昨年2023年3月23日人事院九州事務局長交渉時に、小

行うことを決めました。「民調」の調査項目に取り入れたことは運動の成果です。

### 公務員賃金は民間労働者と同じ賃金です

8月8日に出された人事院勧告は、月例給2.76% (11,183円)、一時金0.1月分の改善勧告でしたが、大企業5%超えの賃金改定にも関わらず下がっていることは人事院勧告が官民の低賃金構造を固定化させていることは重大です。また

物価上昇にも及ばず生活改善にもなっていません。今年の人事院勧告では「給与制度のアップデート」の成案が盛り込まれ、地域手当削減だけでなく、「一部の官僚優遇、成績主義能力主義強化」が前面に押し出された内容でした。

山事務局長に川本総裁宛と一緒に提出しました。人事院は、その年の4月24日からの「職種別民間給与実態調査」(以下「民調」)で、本来は対象ではない民

人事院勧告は公務員賃金と呼ばれています。民間労働者の賃金との格差解消です。毎年4月に改定される民間労働者の賃金実態と前年度の公務員

(編集委員 惠藤)

# 福岡県労連第35回定期大会報告

## カネミ油症事件救済活動支援を提起

福岡県労連は、第35回定期大会を福岡市内で開始し、議案はすべて満場一致で採択されました。議事は午前中に議案提案が行われ、午後の部で労働組合運動が発展しているアメリカ・レイバーノーツの、4月に開催された定期大会に参加された渡邊事務局次長から、レイバーノーツの定期大会の詳しい報告が行

われしました。午後の報告の時間帯に、福岡地区労連から恵藤副議長と松尾幹事から報告しました。恵藤副議長からは、福岡地区労連の一年間の活動報告として、最低賃金見書採択の取り組み、郵政ユニオンのストライキ支援、福岡地区春闘共闘での討論集会と旗開き、佐賀空港自衛隊駐屯地建設

反対運動、原水爆禁止世界大会広島への参加などを報告後、県労連の三苦議長が関わっているカネミ油症事件支援活動を県労連運動に取り上げる提起をしました。特に最低賃金見書採択については、昨年までの13自治体から7自治体に広げた取り組みについて報告しました。

からは、恵藤副議長が機関紙活動に加わり作成発行していることと、恵藤副議長が参加されてからは毎月発行前に、3人で編集会議を2時間かけて行い、編集会議での記事の議論では企画が重要で、機関紙面の充実につながっていることが報告されました。

岸田首相が政権続投を断念し、自民党の総裁選が過熱するなか、9月8日、警固公園で市民連合ふくおか主催の「街角トークライブ」が開催されました。集会は、福岡県選挙管理委員会非公認キャラクター「投票くん」たちの寸劇クイズとダンスの盛り上がりで始まり、公園の子供たちにも好評でした。

市民からは、安保健制違憲訴訟、パレスチナ問題、気候危機変動、労働問題などに関する訴えがあり、深刻な状況や政府がなんの施策もとらうとしていないことも明らかとなりました。

政党からは、日本共産党、社民党、緑の党、市民ネットワークふくおか、福岡市民政治ネットワークが参加し、立憲民主党からメッセ



三苦新福岡県労連議長の初挨拶

### 充実した機関紙活動報告

松尾幹事からは、最新の機関紙8月号を会場配布し、地区労連機関紙作成と活動について報告されました。

まず2020年12月号の再発行からの体制について、当時は内田事務局長、菅事務局長（元福建労福岡西支部）と松尾の3人で再スタートし、2021年1月号から思い切ってカラー刷りにしたことで仲間からの評価が高くなり、機関紙活動が定着した経緯を報告されました。第34回定期大会後の体制変更後

9月8日(日)14時から福岡市内で、元日本災害復興学会会長である室崎益輝神戸大学名誉教授から、「能登半島地震の教訓を今後の防災に生かす」というテーマで講演が行われました。室崎教授は、能登半島地震は発生後8か月後の今も実態が不明、自然の凶暴化と社会の脆弱化の同時進行など、日本全体

の根幹に係わる問題を山のように抱えている。今回の地震は150キロの断層が同時に動いたかつかない巨大な地震、初動捜査の遅れで救援部隊の情報連携が不十分、自衛隊投入が少い、原発と地震後大雨土砂崩れの

複合災害、行政合併を繰り返す財政縮小、職員数減少で、行政が小さくなることで災害対応が難しくなっている。加えて避難所は雑魚寝、暖房もない、食べ物も来ないという、世界一環境が劣悪という間接被害が大きく、ひどい実態を多くの人に知ってもらうことが重要です。



能登半島地震で焦土となった街並み

室崎教授講演後、日本共産党の堀内市議から避難者想定の見直し、段ボールベッド、トイレ対策などの公的な備蓄について、「福岡市の防災対応強化への提言」の報告が行われました。

○人間らしく働くための九州セミナー  
in 大牟田  
11月16日(土)  
13:00~  
17日(日)12:30  
大牟田文化会館

## 日本全体の根幹に関わる問題抱える能登半島地震

### 今後のスケジュール

○第35回福岡地区労連定期大会  
10月20日(日)  
開場12:30  
開会17:00  
千鳥ビル

○過労死等防止対策推進シンポジウム  
11月1日(金)  
15:00~17:00  
オリエンタルホテル福岡

○人問らしく働くための九州セミナー  
in 大牟田  
11月16日(土)  
13:00~  
17日(日)12:30  
大牟田文化会館

○第35回福岡地区労連定期大会  
10月20日(日)  
開場12:30  
開会17:00  
千鳥ビル